

災害出動の対応について

【出動】

- ・ 出動最低人数の3名以上が集まってから出動(1名以上は機関操作ができる人であること(現地合流でも可))
- ・ 目的地(ナビの設定)は必ず出動前に済ませる。
- ・ 出動後すぐ(車両を建物の外に出してから)、中央分団無線機にて出動の一報を発信する。
例「101 から中央各局へ～101 出動します！」

【出動中】

- ・ 助手席(隊長席)には部長・班長および経験豊富な上席者が乗車すること。
- ・ 助手席団員はハンドマイク・モーターサイレンを活用し運転手を完全サポートすること。
※特に十字路や丁字路では、左側からの走行車両に注意すること。
- ・ 助手席団員は現着するまでの間、中央分団無線機にて以下の状況報告をして下さい。
▼他部(本部)の出動を傍受したら、例「101 から201 へ、現在〇〇付近を走行中」
▼災害状況が判ったら、例「101 から中央各局へ～上昇黒煙確認! or 黒煙は見えません!」などを報告

【現着】

- ・ 中央分団無線機にて、以下の報告をして下さい。
例「101 から中央各局へ、火災は～火災延焼中 or 小規模 or 確認できず」(最初に到着の部)
「101、現場直近しました or 火点〇側〇付近の消火栓(防火水槽)に到着しました」(全ての部)

【災害現場での指示】

- ・ 最初に現着した部は、放水の必要性を判断する。※本署が現着している場合は本署との連携をとる
- ・ 団員へ作業指示を出し、作業を行う団員への安全確保(諸注意・交通整理・夜間はライトUP)を忘れずに
- ・ 分団役員の現着を無線機にて確認すること。例「101 より～〇〇1?002?003?」と呼びかけを行う

【中央分団役員が不在の場合】

最初に現着した部は、現場指揮をお願いします。※但し小規模火災まで

- ・ 放水が必要な場合、例「101、これよりホース延長し消火作業開始します」
「101です、中継必要ですか?」、「101です。中継ください」
「101です。ホース延長中です。距離があるので前に1台入ってください」等々
- ・ 本署との情報共有
- ・ 後続部への指示「〇部より中央各局へ、火災(に問わず・は小規模)反転して下さい。」
- ・ 後続部が到着する間、交通整理(警察や地元部が現着したら任せる)

※火災現場に、本部役員や分団役員が先に到着していることは、まずありません。

現着後は、無線で火災の状況や各部の位置を報告し合い、経験豊富な団員の指示の元(部長班長関係なく)、どのような作業を行うか判断し、安全に慌てず行ってください。

各部、どの位置で、どのような作業をしているか、逐一無線で連絡しあうのが大事です。

判断が難しい場合は、本署の指示に従ってください。

役員(地元部)到着後、現状報告、引継ぎを行ってください

【大規模火災（建物火災や広範囲の芝・山火災）の場合】

本署との連携、役員・各部門との細やかな連絡が不可欠です。

・活動位置、活動内容、中継体制の状況報告など

・長時間の作業となる可能性があり、防寒、水分補給などの用意をお願いします。(燃料・無線機の電池注意)
夏場の筒先要員は、おおむね 10 分で交代してください。

※通常はアナログ無線機で交信しますが、2線3線となった場合、状況がつかみづらくなる為、デジタルを使用する場合があります。

【報告】

撤収する際、分団役員へ、人員報告、使用水管、備品の貸し借り、怪我人の有無、破損など無線連絡をお願いします。(3日以内であれば後日メール・LINE・Facebookでも可です)